第 2018-48 号

恵みと真理のニュース

2018 年 12 月の一次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］

私の心の故郷で魂の安息所である恵と真理教会に再び戻って来て幸せな信仰生活をするように摂理してくださった神様の恵みに感謝ささげます。

私は子供の時から祖父が献身して神様にささげた田舎の小さい教会に通っていて、青年になって信仰生活を辞め教会を離れました。そして結婚する時期になってイエス様を信じない家庭で育てられた。男と結婚しました。結婚して子供を産んで生活をすると教会に行きたい心が切実になりました。信仰生活のため分家を願って５年間祈ったのが答えられてカチョンで新しい人生を始めました。
恵みと真理教会のカチョン聖殿に行って火曜礼拝に初めて参席しました。礼拝しながら感動と感激で涙を流しました。神様の懐を離れて教会を遠くしたその日を後悔して悔い改める祈りを捧げました。 舅と姑と旦那のひそかに教会に行って御言葉の恵みを受けて聖霊洗礼を受けました。
主日も教会に行って礼拝もささげたい心が切なかったです。旦那をどうにか説得して主日１部礼拝に参席することが出来ました。代わりに午後には婚家に行って姑の面倒を見ました。子供たちが教会学校に通わないのがかわいそうで児童区域礼拝に参席して神様に礼拝を捧げながら聖書を習わせました。後では私が自動区域長の職分を受けて礼拝を導くようになりました。
５歳と３歳になった息子と娘がある日、婚家に行って教会に通っている話をしてしまい、姑は知るようになりましたが、ひどく反対しませんでした。その当時、姑はお寺に熱心に行って家庭が昔から儒教思想に染まっていて絶対にキリスト教の信仰を排斥して家族の画家で教会に行くのを嫌がりました。しかし、孫たちを愛していたので私と子供たちが教会に行くのを大きく嫌な顔をしませんでした。
そのように５年間分家してするうちに旦那が IMFの時期に名誉退職をしました。それで事業をするためブンダンに引っ越しました。そうしながら、ソウルの姑の家は 賃貸しにして一緒に住むようになりました。結婚して１０年ぶりに姑と一緒に住むようになって葛藤が出来ました。私が教会に行くのを反対していて心の苦労が酷かったです。母はよく寂しがってソウルの家を懐かしがっていました。そうするうちに７３歳になった夏に脳卒中で倒れました。
姑は病院に入院と退院を繰り返してソウルの家が再開発されるという良い話を聞いて再びソウルに行きました。車椅子に乗って不自由な体で苦痛の中で日々を送りました。ある日は私が車椅子に姑を載せて町を一巡り散歩しながら小さい教会を発見しました。私はどこでそんな勇気が出来たか、 姑に共に教会に行こうと話をしました。私が 姑の面倒をみながらソウルからパンギョウまで、時間がけっこうかかったので私の予想と違って“そう。そうしよう。”と話しました。すぐ迷いもなく答えた姑の話に私の心が感動され、今もその時が生々しいです。１０年間以上を伝道しながら祈ってきた私だったのでその日の喜びと感謝は言葉で表現できないほどでした。
そうして私は１５年を仕えてきた恵と真理教会を離れるようになりました。教会を移そうとしたら悲しくて心が痛かったです。パンキョ聖殿の牧師と伝道士が何回も訪問に来られましたが、その度、涙を流して母が亡くなると戻ってくると約束をしました。私は涙をのんで母と家族と共に村にある教会に通うようになりました。私の旦那は祈って１０年ぶりに恵と真理教会の水曜日の夜礼拝に参席して主を受け入れて、母は１５年ぶりに主を受け入れました。その後、 姑は３年間、信仰生活を真面目にして神様から呼ばれて天国に召されました。なくなる時の姿はまるで天使の顔のように光っていて私が２０年間を見た姿の中で一番美しくて光っている顔でした。
姑を連れて通い始めた教会でもう１０年の歳月が流れて私は重職者になりました。熱心に宣教と奉仕の様々な部署で献身していた２０１３年５月、私が伝道してスワン聖殿とデジョンの聖殿で仕えている二人の妹が来て毎日のように WCC関連した本とチョヨンモク牧師の説教のテープを持って私を訪ねて来ました。私はその時、初めてWCCが初めて宗教多元主義と宗教混合主義の事実を知るようになりました。この団体を知ってからはおののく心臓が止まるような衝撃を受けました。今まで仕えた教会がｗｃｃプサン総会を誘致するに大きい役割をした教団に属した教会でした。
しかし、再び教会を変えようとしたらなかなか難しかったです。私は娘と共に期間を決めて祈りを始めて神様の助けを求めました。そうするうちに教会の勧士と小さい言い争いがありましてその事が私の心に大きい傷になりました。神様が過去、私がした約束を思い出すようにしてくださり、そのような心も準備し決断するように助けてくださいました。６月初めの主日に私は担任の牧師に尋ねていて事情を話した後、恵と真理教会に戻ってきました。その時の事件は大きかったし、特にWCCに関連して聖徒に大きい反響を巻き起こしました。
パンキョ聖殿の長老と首区域長と区域長達、また多くの聖徒が私を覚えていて歓迎して祝福してくださいました。党会長の牧師の恵み深い泳力が溢れる説教と聖霊充満な主の働き者　１０年ぶりに戻ってきた恵と真理教会は変わりがなかったです。教会の駐車場のエレベーターで初めて会った方も私を本当に待ってくださった首区域長でした。教会で教籍と私の跡が残っていたのも感動でした。長い彷徨あげく実家に戻ってきたように日々が感激でした。党会長の牧師の説教が蜂蜜のように甘くて私を愛してくださる教役者によって本当に幸せでした。
恵みと真理教会で以後、５年間伝道師を手本にして伝道して訪問をしながら首区域長になりました。ソンナンからブンダンでそしてパンキョで牧師と伝道師をついて行ったら神様が私の家庭に豊かな福を与えてくださいました。息子の貸し切り家の保証金を全部失う危機でしたが神様が問題がよく解決して下さり、たった千ウォンも損害を受けないようにしたことが始めて、息子と娘の結婚に至るまで全てを守ってくださった主が助けてくださいました。昨年の春に娘が恵と真理教会で大教区長の牧師の司会で結婚礼拝を捧げました。“どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。”（フィリピの信徒への手紙４：６）御言葉を思い出して祈った後、“私は主の事だけ力を尽くします。主が私の家庭の事、だんなと息子に関するのを主が導てください。！と家を出る時、一日心が平安で幸せです。
日々、あちこちで主の事をしながら熱心に奉仕する聖徒と、恵と祝福がある所で私を導いて下さる党会長の牧師と愛が充満な教役者達によっていつも感謝で幸せです。私の全てが神様が共にして助けてくださってここまで来ることが出来ました。主が来られる日まで相変わらず主を愛し足りない私を主が使ってくださる最後の日まで相変わらず主の事に力を尽くします。まことに善い私の主に栄光を捧げます。

［信仰コラム］　叫んでお祈りすべきの理由

"...今イスラエルの人々の叫びがわたしに届いた。わたしはまたエジプトびとが彼らをしえたげる，そのしえたげを見た..."（出エジプト記 3:7～10）

お祈りは神様に向いて自分が願うことを告げることです。自分だけに該当する要求があり、他人に該当する要求があります。大勢の人や国家に該当する要求もあります。短期間に応答されることを願うこともあって、ますますあるいは後日いかなる時でも応答されることを願うことがあります。しかし、私達が知るべきことは、自分が要求した通りに応答されなくてもお祈りは無駄ではないということです。お祈りする人は神様の時に神様の方法と神様の思い通りに応答されるのが最善の応答だということを確信すべきです。お祈りする場合だけに制限されたことではないが、いかなる場合はお祈りするまで助けてくださらないという事実が聖書に確に記録されています。
まず、イスラエル子孫達がエジプトから解放された歴史的な事件を調べてみます。
神様はアブラハムがカナンの地に移住した時、次のようなことを言われました。"あなたはよく 心にとめておきなさい。あなたの子孫は他の国に旅びととなって，その人々に仕え，その人々は彼らを 四百年の間，悩ますでしょう。しかし，わたしは彼らが仕えたその国民をさばきます。その後かれらは 多くの財産を携えて出て來るでしょう..."しかし、出エジプト記 12 章を見ると"イスラエルの人々がエジプトに住んでいた間は，四百三十年であった。四百三十年の終りとなって，ちょうどその日に，主の全軍はエジプトの国を出た。"と記録されました。神様がアブラハムに言われる時は 400 年だと言われたが、実際には 430 年でした。
30 年がより遅延された理由が出エジプト記 3 章に記録されています。神様がモーセに"いまイスラエルの人々の叫びがわたしに届いた。わたしはまたエジプトびとが彼らをしえたげる，そのしえたげを見た。さあ，わたしは，あなたをパロにつかわして，わたしの民，イスラエルの人々をエジプトから導き出させよう"と言われました。イスラエル子孫達が神様の言約を記憶してエジプトを去ることを願ってお祈りすべきであったが、そうしなかったからです。ここで私達が悟るべきの要点はいかなる場合には神様の約束があるとしても神様に求めるべきだという事実です。
次は、ヨシャパテ王の時にあった事件を調べてみます。ユダヤ国の国力が弱くなったことに乗じてモアブとアンモンとマオン、そしてエドムが連合して侵攻するとヨシャパテ王が恐れ神様に向いて求める一方、全ての民に断食するよう公布しました。ヨシャパテ王が聖殿の庭の前で会衆の中に立ってこのようにお祈りしました。"彼らがわれわれに報いるところをごらんください。彼らは來て，あなたがわれわれに賜わったあなたの領地からわれわれを追い払おうとしています。われわれの神よ，あなたは彼らをさばかれないのですか。われわれはこのように攻めて來る大軍に當る力がなく，またいかになすべきかを知りません。ただ，　あなたを仰ぎ望むのみです。"すると神様が応答のメッセージをくださいました。"...この大軍のために恐れてはならない。おののいてはならない。これはあなたがたの戰いではなく，主の戰いだからである。"
民達が早く起きてテコアの野原に出る時にヨシャパテ王が立って民達に大声で頼みました。"あなたがたの神，主を信じなさい。そうすればあなたがたは堅く立つことができる。主の預言者を信じなさい。そうすればあなたがたは成功するでしょう"その後に民たち共に議論して歌う者を選び聖なる礼服を着せて軍隊の前に進みながら"主に感謝せよ、そのいつくしみはとこしえに絶えることがない　"と賛美させました。すると神様が奇異で驚くべきなことを行いました。神様が伏兵を設け仲間争いが起きるようになさいました。ユダヤ民が野の物見やぐらへ至って戦場を見ると地に伏した遺体だけでした。危機に処されても神様に叫んでお祈る民は滅びません。お祈りをお聞きなさる神様が哀れんでくださり働いてくださるからです。
危機を危機として認識しない民は滅びるしかありません。危機を知ってもお祈りしない民は神様の助けを得られません。神様は神様に叫ぶイスラエル子孫をエジプトから救われました。国家が危機に処された時、神様に叫んだヨシャパテ王と民達を神様がしるしと奇跡を施されて助けてくださいました。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

神が覚えていないことと記憶されること

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

「それを覚えていない」あるいは「それを覚えましょう。」と、私たちが言う時があります。「それを覚えていない」という言葉は、記憶している 何に対して関係しないという意志の表明です。一方、「それを覚えましょう」という言葉は、それ関係するという意志の表明です。神がそれを覚えていない」と言われることは、それをなかったのように考えられるという意味です。一方、「それを覚えましょう。」という言葉は、それを神の性質や言約によって処理なさるという意味です。

まず、神が覚えないとなされたのが何かを見てみましょう。

神は滅びになる罪人が、イエス・キリストを自分の救い主として信じて受け入れれば、彼のすべての罪を赦してくださいます。そして、その罪を二度とも覚えないとなさいます。キリストのゆえに罪の赦しは、完全かつ徹底的です。イエス・キリストの贖いの恵みは、100%の恵みです。イエス様が十字架につけられ死ぬ前に最後の言われたのは、「完了しました」です。人が救いを得るためにしなければならないことは、イエス・キリストを救い主として信じて受け入れほかありません。もし自分の功労を少しでも加えしようとすると、その人は、イエスの贖いの恵みを軽蔑することになります。 **ガラテヤ人への手紙 5 章 4 節に記録されることを、「律法によって 義とされようとするあなたがたは， キリスト から 離れてしまっている．恵みから 落ちている」**としました
イエス・キリストを信じる人は、罪に定罪の意識を完全に捨てなければなりません。聖書には、イエス・キリストによる罪の赦しが完全で徹底であるのを知てくれる詩がたくさんあります。
イザヤ書 1 章 18 節には**「 主は 言われる， さあ， われわれは 互に 論じよう． たとい あなたがたの 罪は 緋のようであっても， 雪のように 白くなるのだ． 紅のように 赤くても， 羊の 毛のようになるのだ」**しました。
イザヤ書 38 章 17 節には**「 見よ， わたしが 大いなる 苦しみにあったのは， わが 幸福のためであった． あなたはわが 命を 引きとめて， 滅びの 穴をまぬかれさせられた． これは， あなたがわが 罪をことごとく， あなたの 後に 捨てられたからである」**しました。
ミカ書 7 章 19 節には「再びわれわれをあわれみ， われわれの 不義を 足で 踏みつけられる． あなたはわれわれのもろもろの 罪を ／海の 深みに 投げ 入れ」しました。
エレミヤ 31 章 34 節には「人はもはや， おのおのその 隣とその 兄弟に 教えて， 『あなたは 主を 知りなさい 』とは 言わない． それは， 彼らが 小より 大に 至るまで 皆， わたしを 知るようになるからであると 主は 言われる． わたしは 彼らの 不義をゆるし， もはやその 罪を 思わない 」しました、**ヘブル人への手紙 8 章 12 節には「わたしは， 彼らの 不義をあわれみ， ／もはや， 彼らの 罪を 思い 出すことはしない 」**しました。イエス・キリストを信じて罪の赦し受けたにもかかわらず、救いということを大胆に話すことを躊躇する人がいます。

このような人は、「私はかれらの罪を赦して再び記憶しないであろう」言われたのを心に置きます。イエス・キリストの贖いの恵みによって罪の赦しを受けた後には、神が彼の罪を覚えていないのです

次は、神が忘れないで記憶されるのが何なのかを見てみましょう。

第一に、神は、聖徒が信仰のために苦しみたり殉教するのを思い出して、必ず報いてくださいます。

アダムとエバがサタンの誘惑に落ちて、神が禁じられた善悪の知る木の実を取って食べたので、罪人になりました。アダムの罪は、彼の子孫のすべてに及びになりました。神はアダムが罪を犯した直後あがないの恵みと真理を明らかに啓示しました。
そしてアダムは将来に来られる救い主を信じていた。そして、これらの真理を、彼の子供たちに伝授したのは明らかです。アダムはその妻エバと寝てエバがみごもってカインとアベルを産んだ。数年後、カインは地の所産で供物を主にささげ、アベルは羊をささげました。主はアベルとその供え物は喜んで受けられたが、カインとその供え物は受けなかった。その理由を、新約聖書のヘブル人への手紙にそうしました
「信仰によって， アベル は カイン よりも まさったいけにえを 神にささげ， 信仰によって 義なる 者と 認められた． 神が， 彼の 供え 物をよしとされたからである． 彼は 死んだが， 信仰によって 今もなお 語っている」（ヘブル人への手紙 11：4）カインは主なる神は自分の供物は受けませんでしたが、弟アベルの捧げ物を受けるのを見て深く怒りになったが、結局に弟アベルを殺しました。イエスが言われた **「こうして 義人 アベル の 血から， 聖所と 祭壇との 間であなたがたが 殺した バラキヤ の 子 ザカリヤ の 血に 至るまで， 地上に 流された 義人の 血の 報いが， ことごとくあなたがたに 及ぶであろう」（マタイによる福音書 23:35）**しました。そして続いて言われた **「よく 言っておく． これらのことの 報いは， みな 今の 時代に 及ぶであろう． ああ， エルサレム ， エルサレム ， 預言者たちを 殺し， おまえにつかわされた 人たちを 石で 打ち 殺す 者よ． ちょうど， めんどりが 翼の 下にそのひなを 集めるように， わたしはおまえの 子らを 幾たび 集めようとしたことであろう． それだのに， おまえたちは 応じようとしなかった． 見よ， おまえたちの 家は 見捨てられてしま」（マタイによる福音書 23：36~38）**しました
イエスがこのように言われた時から 40 年がならないに、エルサレムはローマ軍によって完全に滅びになりました。神は、聖徒が信仰のために苦難たり殉教されるのを思い出して義で裁かれます。そして聖いなる人のために用意された報いを与えます。 ペテロの第一の手紙 4 章では、**「むしろ， キリスト の 苦しみにあずかればあずかるほど， 喜ぶがよい． それは， キリスト の 榮光が 現れる 際に， よろこびにあふれるためである」（ ペテロの第一の手紙 4:13）**としました

第二に、神は、聖徒が神のあわれみを望んで悲しむのを覚えしあわれみを施していただきます。

ペテロは、大祭司の尋問を受けるイエスの前で恐怖に耐えられず、イエスを知らないと否定しました。その鶏の泣く声が聞こえました。ペテロは、イエスが「あなたの鶏が鳴く前に三回私を否定するものである」と予告されたの言葉が記憶されました。

イエスのためには獄にも一緒に行って死ぬにも一緒に付って自分の心とは違って行動する自分が悲しかった。彼は外に出て、主があわれんで考えていただきたいと願い深く号泣しました。マグダラのマリアと女性たちがイエスの遺体に香料を塗るために夜明けに墓に行って復活されたイエス様にお会いしました。イエスはマリアに命令するのをペテロに行って、イエスの復活のニュースを知らせとしました。それだけでなく、イエスは夜明けに海辺で弟子たちを呼び集めた後、ペテロに「主を愛していますか」という告白を三度もしました。主の御心に逆らって行ったのがあるときに落胆して退く行くのではなく悲しみで、主に、より近づくください。主は悲しむの聖徒を記憶して、慰労と慰めを与えてくれます。**詩篇 51 篇 17 節には、「神の 受けられるいけにえは 傷けた 魂です． 神よ， あなたは 傷けた 悔いた 心を かろしめられません」**しました

第三に、神は主のための聖徒の手間と献身を忘れずに覚えて報いを頂きます。

ローマの獄中で使徒パウロは、ピリピ教会に送る手紙の中で**「わたしの 神は， ご 自身の榮光の 富の 中から， あなたがたのいっさいの 必要を， キリスト · イエス にあって 滿たして 下さるであろう」（ピリピ人への手紙 4:19）**と祝福しました。ピリピ教会の信徒たちは、パウロの福音の働きのために着実に助けた。そして、パウロがローマの獄中に閉じ込められると生活必需品だけでなく、エパフロデトまで送って助けるようにしました。パウロはこのような支援を彼らに求めていないが、彼らは自らしました。（ビル 4：14-18）神は、聖徒たちの献身と手間を忘れないし、記憶されます
使徒パウロは、コリント教会の聖徒たちに、聖霊の感動を受けて記録するのを **「 だから， 愛する 兄弟たちよ． 堅く 立って 動かされず， いつも 全力を 注いで 主のわざに 勵みなさい． 主にあっては， あなたがたの 勞苦がむだになることはないと， あなたがたは 知っているからである」（コリント人への第一の手紙 15:58）、「そういうわけだから， 肉體を 宿としているにしても， それから 離れているにしても， ただ 主に 喜ばれる 者となるのが， 心からの 願いである． なぜなら， わたしたちは 皆， キリスト のさばきの 座の 前にあらわれ， 善であれ 惡であれ， 自分の 行ったことに 應じて， それぞれ 報いを 受けねばならないからである」（コリント人への第二の手紙 5：9 、10）**しました。イエスご自身が言われた、**「わたしの 弟子であるという 名のゆえに， この 小さい 者のひとりに 冷たい 水一杯でも 飲ませてくれる者は， よく 言っておくが， 決してその 報いからもれることはない 」（マタイによる福音書 10:42）**としました。私たちは、主の前に立つ日、私たちは行ったことを覚えきれない神は、私たちの行ったことをすべて忘れずに覚えておられます。

愛する皆さん、神はイエス・キリストを本当に自分の救い主として信じる人のすべての罪を完全かつ徹底的に赦していただき再度も覚えません。神は、聖徒が信仰のために苦しみたり殉教を思い出して、必ず報いてくださいます。神は、聖徒が神のあわれみを望んで悲しむことを覚えしあわれみを施していただきます。神は、主のための聖徒の手間と献身を忘れずに覚えて報いを頂きます。これを堅く信じなさい。